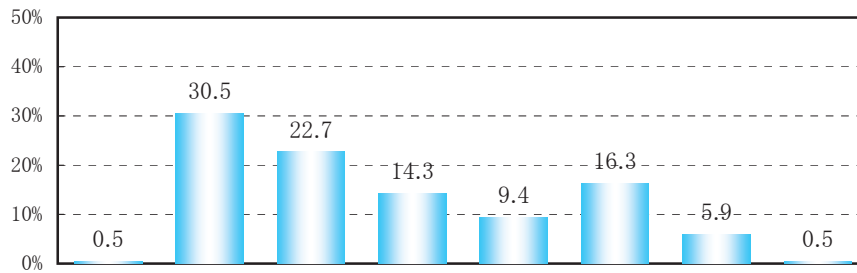


## 1. 継続教育担当者数

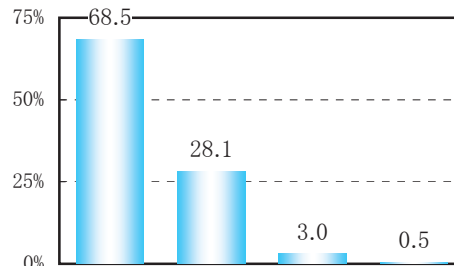
全体では、「1～2人」62社(30.5%)、「3～4人」46社(22.7%)、「10～19人」33社(16.3%)の順となり、平均人数は[7.3人]となっている。



MR雇用規模別	企業数	0人	1～2人	3～4人	5～6人	7～9人	10～19人	20人以上	無回答	平均人数
全体	203 100.0	1 0.5	62 30.5	46 22.7	29 14.3	19 9.4	33 16.3	12 5.9	1 0.5	7.3
99名以下	110 100.0	1 0.9	52 47.3	27 24.5	14 12.7	5 4.5	9 8.2	1 0.9	1 0.9	3.8
100～299名	39 100.0	-	6 15.4	10 25.6	7 17.9	7 17.9	4 10.3	5 12.8	-	12.4
300～499名	11 100.0	-	-	1 9.1	4 36.4	-	4 36.4	2 18.2	-	13.5
500～999名	26 100.0	-	2 7.7	6 23.1	3 11.5	4 15.4	9 34.6	2 7.7	-	9.5
1,000名以上	17 100.0	-	2 11.8	2 11.8	1 5.9	3 17.6	7 41.2	2 11.8	-	10.2

## 1. 自社の企業理念・目指す企業像

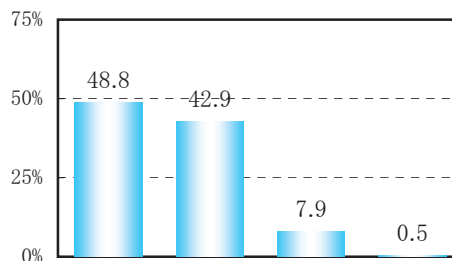
全体では、「MRに企業理念や目指す企業像を明示し、浸透している」139社(68.5%)、「HPなどで公開しているが、MRの理解が十分とは言えない」57社(28.1%)、「明示していない」6社(3.0%)の順となっている。



MR雇用規模別	企業数	MRに企業理念や目指す企業像を明示し、浸透している	HPなどで公開しているが、MRの理解が十分とは言えない	明示していない	無回答
全体	203	139 68.5	57 28.1	6 3.0	1 0.5
99名以下	110	67 60.9	36 32.7	6 5.5	1 0.9
100~299名	39	24 61.5	15 38.5	-	-
300~499名	11	9 81.8	2 18.2	-	-
500~999名	26	22 84.6	4 15.4	-	-
1,000名以上	17	17 100.0	-	-	-

## 2. 自社の目指すMR像・MR行動規範

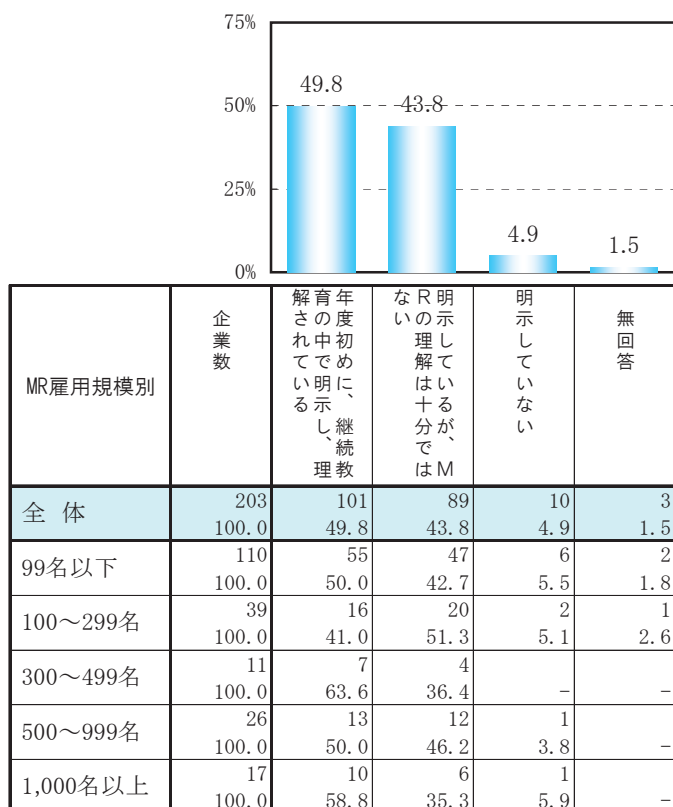
全体では、「MRに目指すMR像やMR行動規範を明示し、浸透している」99社(48.8%)、「明示しているが、MRの理解は十分ではない」87社(42.9%)、「明示していない」16社(7.9%)の順となっている。



MR雇用規模別	企業数	MRに目指すMR像やMR行動規範を明示し、浸透している	明示しているが、MRの理解は十分ではない	明示していない	無回答
全体	203	99 48.8	87 42.9	16 7.9	1 0.5
99名以下	110	47 42.7	49 44.5	13 11.8	1 0.9
100~299名	39	17 43.6	22 56.4	-	-
300~499名	11	7 63.6	3 27.3	1 9.1	-
500~999名	26	15 57.7	10 38.5	1 3.8	-
1,000名以上	17	13 76.5	3 17.6	1 5.9	-

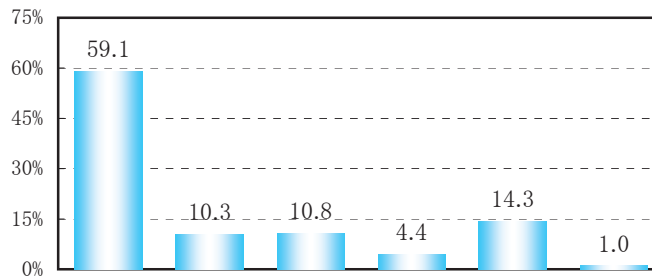
### 3. 自社のMR研修方針・研修計画

全体では、「年度初めに、継続教育の中で明示し、理解されている」101社(49.8%)、「明示しているが、MRの理解は十分ではない」89社(43.8%)、「明示していない」10社(4.9%)の順となっている。



## 1. 集合研修の実施頻度

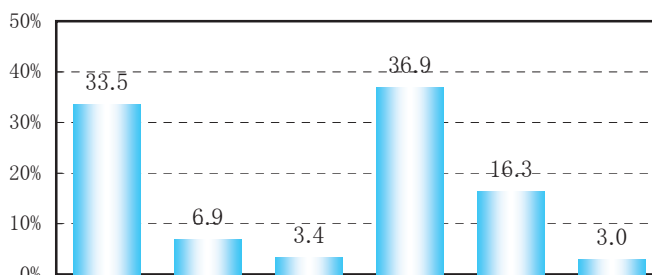
全体では、「毎月1回以上」120社(59.1%)、「その他」29社(14.3%)、「四半期に1回」22社(10.8%)の順となっている。



MR雇用規模別	企業数	毎月1回以上	隔月	四半期に1回	年1回	その他	無回答
全体	203	120	21	22	9	29	2
	100.0	59.1	10.3	10.8	4.4	14.3	1.0
99名以下	110	53	15	16	8	16	2
	100.0	48.2	13.6	14.5	7.3	14.5	1.8
100~299名	39	28	2	2	1	6	-
	100.0	71.8	5.1	5.1	2.6	15.4	-
300~499名	11	11	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-
500~999名	26	18	2	1	-	5	-
	100.0	69.2	7.7	3.8	-	19.2	-
1,000名以上	17	10	2	3	-	2	-
	100.0	58.8	11.8	17.6	-	11.8	-

## 2. 衛星放送、Web・TV会議、eラーニング（同時双方向）などの実施頻度

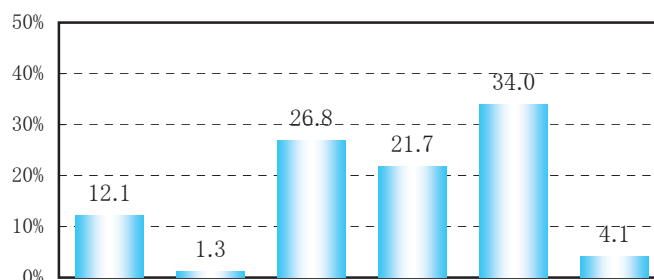
全体では、「必要に応じて随時」75社(36.9%)、「毎月1回以上」68社(33.5%)、「その他」33社(16.3%)の順となっている。



MR雇用規模別	企業数	毎月1回以上	隔月	四半期に1回	必要に応じて随時	その他	無回答
全体	203	68	14	7	75	33	6
	100.0	33.5	6.9	3.4	36.9	16.3	3.0
99名以下	110	25	5	4	48	23	5
	100.0	22.7	4.5	3.6	43.6	20.9	4.5
100~299名	39	12	3	2	15	7	-
	100.0	30.8	7.7	5.1	38.5	17.9	-
300~499名	11	3	-	-	6	1	1
	100.0	27.3	-	-	54.5	9.1	9.1
500~999名	26	15	4	1	5	1	-
	100.0	57.7	15.4	3.8	19.2	3.8	-
1,000名以上	17	13	2	-	1	1	-
	100.0	76.5	11.8	-	5.9	5.9	-

### 3. 集合研修の組織単位別の実施割合〔数値回答〕

全体では、「全社」(34.0%)、「営業所」(26.8%)、「支店」(21.7%)の順となっている。

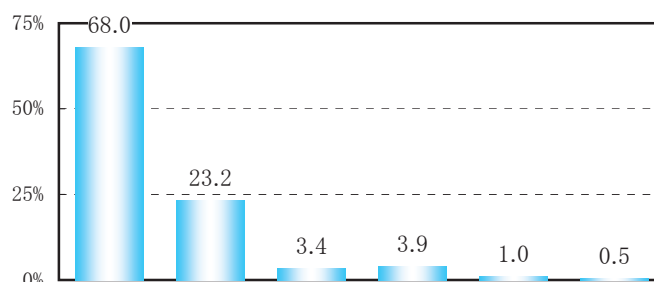


MR雇用規模別	企業数	チーム・課	出張所	営業所	支店	全社	その他
全体	203	12.1	1.3	26.8	21.7	34.0	4.1
99名以下	110	11.2	1.6	15.8	16.2	51.8	3.3
100～299名	39	8.2	0.0	27.3	41.9	20.6	2.0
300～499名	11	5.0	0.0	57.7	27.7	0.0	9.5
500～999名	26	18.5	3.1	44.8	21.0	8.5	4.2
1,000名以上	17	21.8	0.6	48.5	7.6	11.5	10.0

集合研修の実施割合〔%〕

### 4. MRの出席率

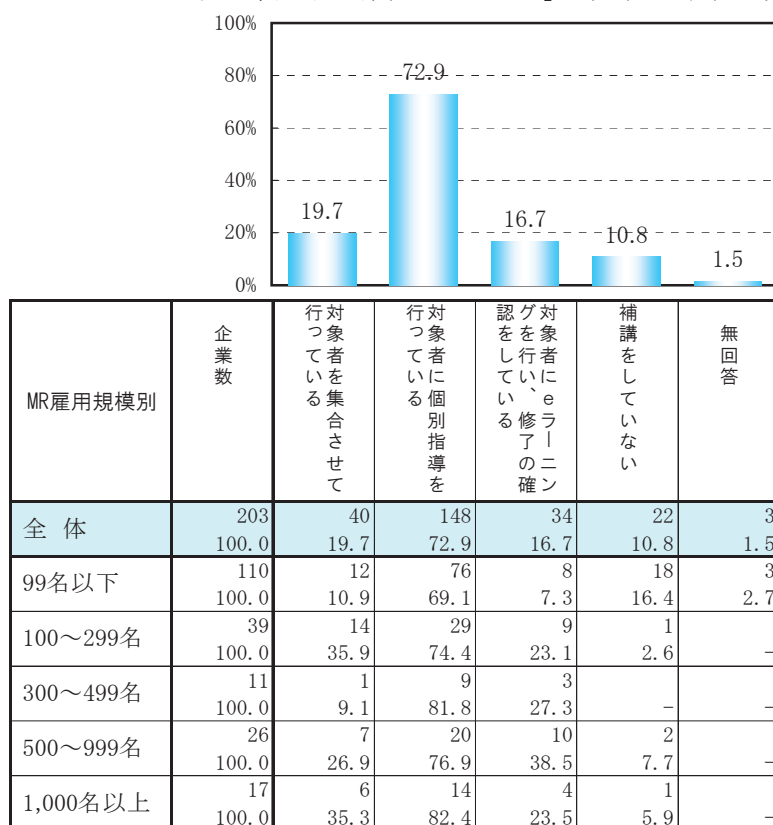
全体では、「100% (補講と併せて)」138社(68.0%)、「約95%～99%」47社(23.2%)、「約85%～90%」8社(3.9%)の順となっている。



MR雇用規模別	企業数	100% (補講と併せて)	約95%～99%	約90%～95%	約85%～90%	85%以下	無回答
全体	203	138	47	7	8	2	1
	100.0	68.0	23.2	3.4	3.9	1.0	0.5
99名以下	110	77	22	4	6	-	1
	100.0	70.0	20.0	3.6	5.5	-	0.9
100～299名	39	24	11	2	-	2	-
	100.0	61.5	28.2	5.1	-	5.1	-
300～499名	11	8	3	-	-	-	-
	100.0	72.7	27.3	-	-	-	-
500～999名	26	20	4	1	1	-	-
	100.0	76.9	15.4	3.8	3.8	-	-
1,000名以上	17	9	7	-	1	-	-
	100.0	52.9	41.2	-	5.9	-	-

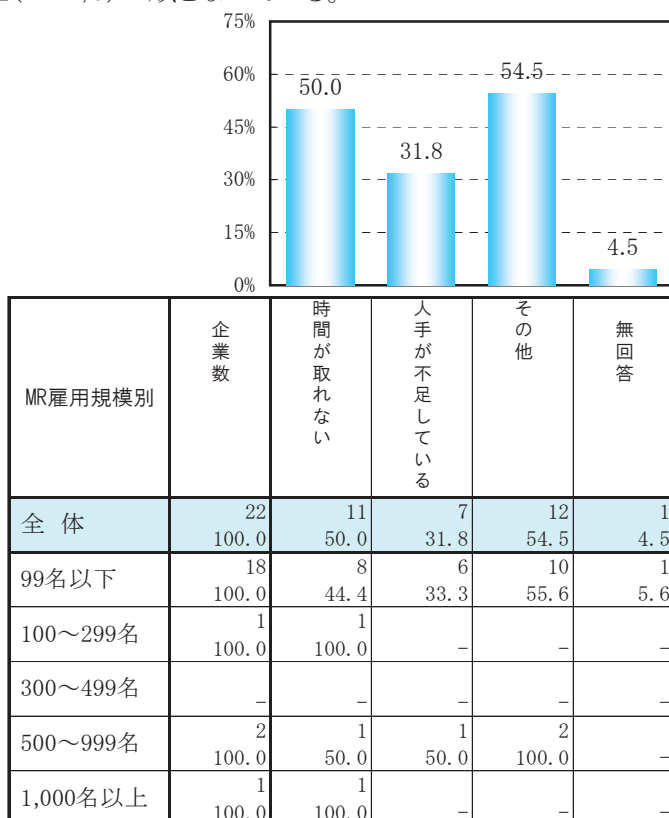
## 5. 欠席者の補講〔複数回答〕

全体では、「対象者に個別指導を行っている」148社(72.9%)、「対象者を集合させて行っている」40社(19.7%)、「対象者にeラーニングを行い、修了の確認をしている」34社(16.7%)の順となっている。



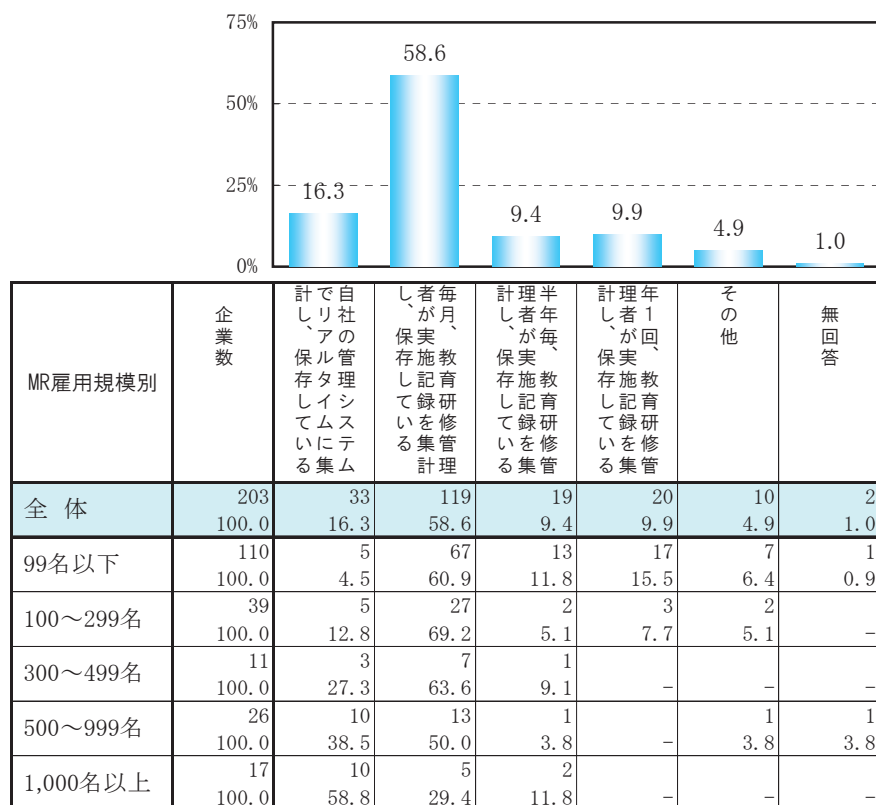
### ●補講をしていない理由〔複数回答〕

「補講をしていない」22企業では、「その他」が12社(54.5%)、「時間がとれない」が11社(50.0%)、「人手が不足している」が7社(31.8%)の順となっている。



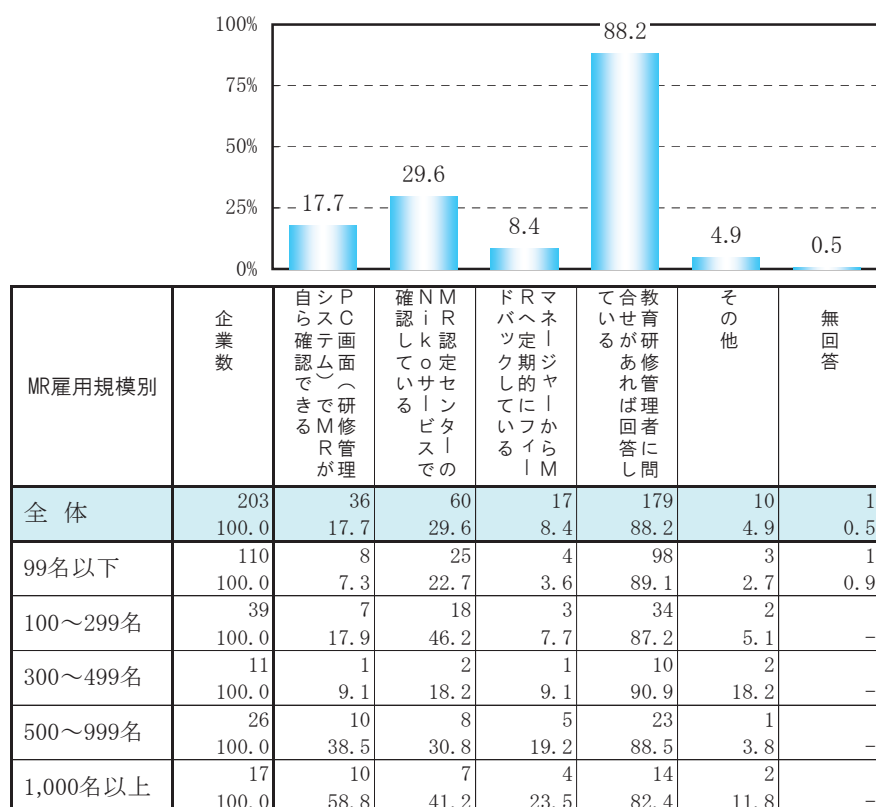
## 6. 研修実施状況の把握方法

全体では、「毎月、教育研修管理者が実施記録を集計し、保存している」119社(58.6%)、「自社の管理システムでリアルタイムに集計し、保存している」33社(16.3%)、「年1回、教育研修管理者が実施記録を集計し、保存している」20社(9.9%)の順となっている。



## 7. MRが研修履歴を確認する方法〔複数回答〕

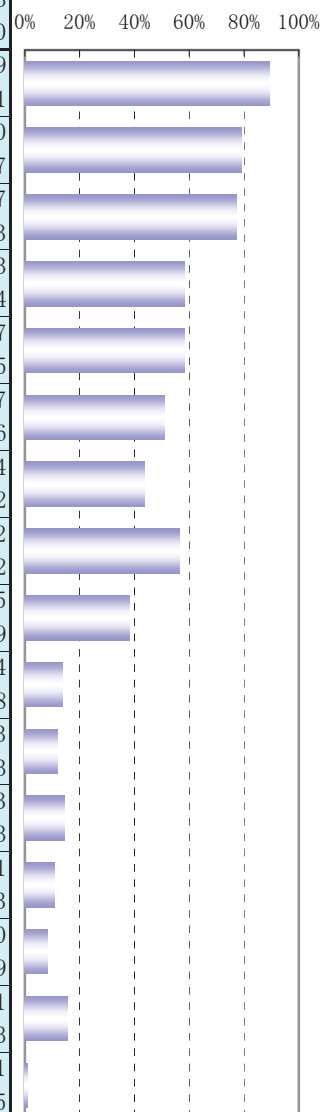
全体では、「教育研修管理者に問合せがあれば回答している」179社(88.2%)、「MR認定センターのNikoサービスで確認している」60社(29.6%)、「PC画面(研修管理システム)でMRが自ら確認できる」36社(17.7%)の順となっている。



## 8. 継続教育で使用した教材〔複数回答〕

全体では、「自社作成の教材(各種)」189社(93.1%)、「公正競争規約(解説書、公取協ニュース、Q&Aなど)」170社(83.7%)、「添付文書、インタビューフォーム」167社(82.3%)の順となっている。

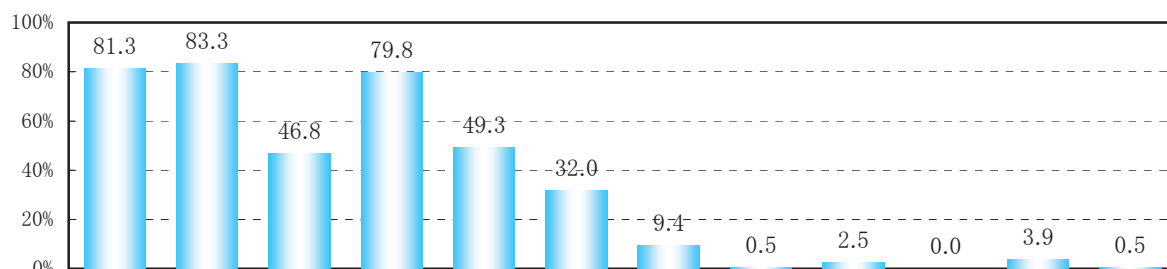
MR雇用規模別	9 9 名 以 下	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 名	3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 名	5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 名	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 名 以 上	全 体
企業数	110 100.0	39 100.0	11 100.0	26 100.0	17 100.0	203 100.0
自社作成の教材(各種)	98 89.1	37 94.9	11 100.0	26 100.0	17 100.0	189 93.1
公正競争規約(解説書、公取協ニュース、Q&Aなど)	87 79.1	36 92.3	10 90.9	23 88.5	14 82.4	170 83.7
添付文書、インタビューフォーム	85 77.3	34 87.2	10 90.9	21 80.8	17 100.0	167 82.3
診療ガイドライン(各種)	64 58.2	34 87.2	11 100.0	19 73.1	15 88.2	143 70.4
医療・医薬品業界の一般知識	64 58.2	28 71.8	10 90.9	22 84.6	13 76.5	137 67.5
製薬協コード・オブ・プラクティス	56 50.9	24 61.5	6 54.5	18 69.2	13 76.5	117 57.6
市販後調査業務手順書	48 43.6	26 66.7	8 72.7	18 69.2	14 82.4	114 56.2
MRテキスト	62 56.4	20 51.3	4 36.4	10 38.5	6 35.3	102 50.2
学会抄録集(各種)	42 38.2	20 51.3	5 45.5	10 38.5	8 47.1	85 41.9
今日の治療指針	15 13.6	4 10.3	1 9.1	2 7.7	2 11.8	24 11.8
MR認定センター主催の各セミナーの資料	13 11.8	4 10.3	1 9.1	3 11.5	2 11.8	23 11.3
MR認定試験問題集(市販品)	16 14.5	4 10.3	1 9.1	1 3.8	1 5.9	23 11.3
今日の治療薬	12 10.9	4 10.3	2 18.2	1 3.8	2 11.8	21 10.3
テレビ番組の紹介(医療系のテレビ番組)	9 8.2	7 17.9	-	3 11.5	1 5.9	20 9.9
その他	17 15.5	8 20.5	1 9.1	4 15.4	1 5.9	31 15.3
無回答	1 0.9	-	-	-	-	1 0.5





## 9. 実施した技能・実地研修〔複数回答〕

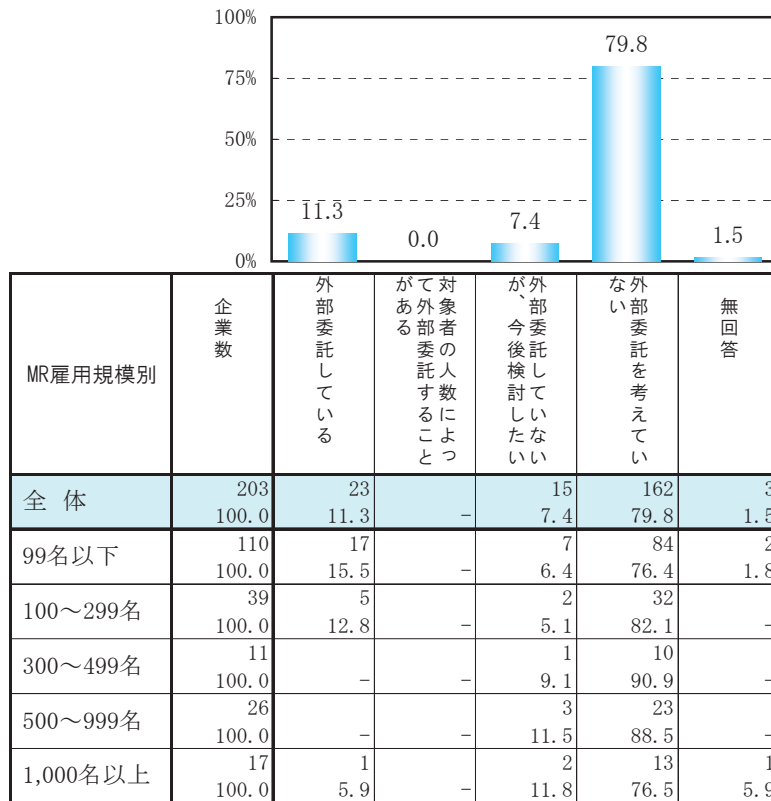
全体では、「プレゼンテーションスキル(製品説明会の予演など)」169社(83.3%)、「面談スキル(ロールプレイングなど)」165社(81.3%)、「同行(上司、先輩など)」162社(79.8%)の順となっている。



MR雇用規模別	企業数	面談スキル(ロールプレイングなど)	プレゼンテーションスキル(製品説明会の予演など)	コミュニケーションスキル(コーチングなど)	同行(上司、先輩など)	ケーススタディ(事例発表会、ダイアログなど)	情報活用スキル(ITの操作など)	医療機関での現場実習(病棟、薬剤部など)	介護体験(在宅、介護施設など)	地域福祉・ボランティア活動	救命講習会(AE、人工呼吸など)	その他	無回答
全体	203 100.0	165 81.3	169 83.3	95 46.8	162 79.8	100 49.3	65 32.0	19 9.4	1 0.5	5 2.5	-	8 3.9	1 0.5
99名以下	110 100.0	78 70.9	84 76.4	38 34.5	86 78.2	48 43.6	32 29.1	10 9.1	1 0.9	2 1.8	-	3 2.7	1 0.9
100~299名	39 100.0	35 89.7	37 94.9	21 53.8	29 74.4	18 46.2	8 20.5	4 10.3	-	1 2.6	-	2 5.1	-
300~499名	11 100.0	10 90.9	10 90.9	7 63.6	7 63.6	5 45.5	6 54.5	-	-	-	-	-	-
500~999名	26 100.0	25 96.2	22 84.6	16 61.5	24 92.3	18 69.2	11 42.3	2 7.7	-	-	-	1 3.8	-
1,000名以上	17 100.0	17 100.0	16 94.1	13 76.5	16 94.1	11 64.7	8 47.1	3 17.6	-	2 11.8	-	2 11.8	-

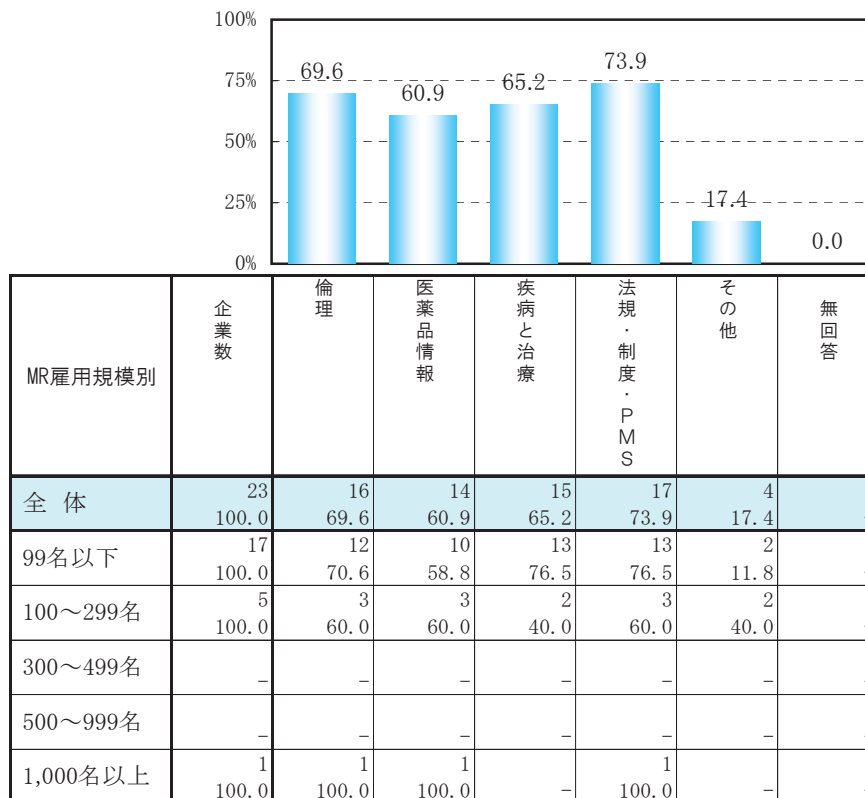
## 1. 継続教育の外部委託について

全体では、「外部委託を考えていない」162社(79.8%)、「外部委託している」23社(11.3%)、「外部委託していないが、今後検討したい」15社(7.4%)の順となっている。



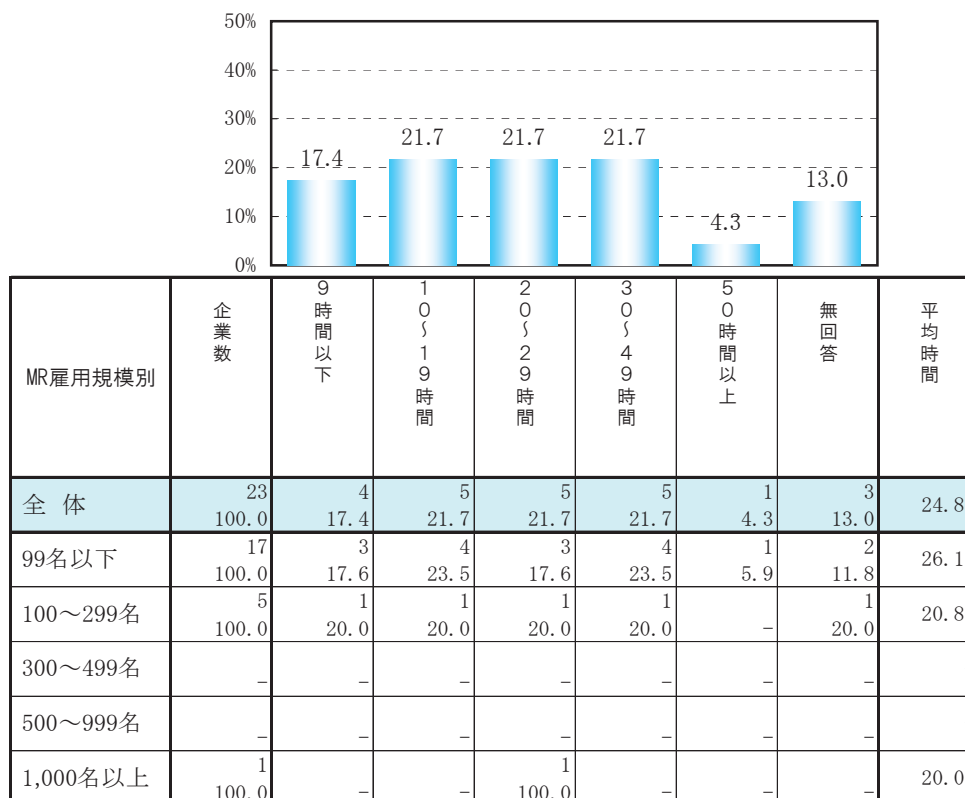
## 2. 継続教育を外部委託している科目〔複数回答〕

全体では、「法規・制度・PMS」17社(73.9%)、「倫理」16社(69.6%)、「疾病と治療」15社(65.2%)の順となっている。



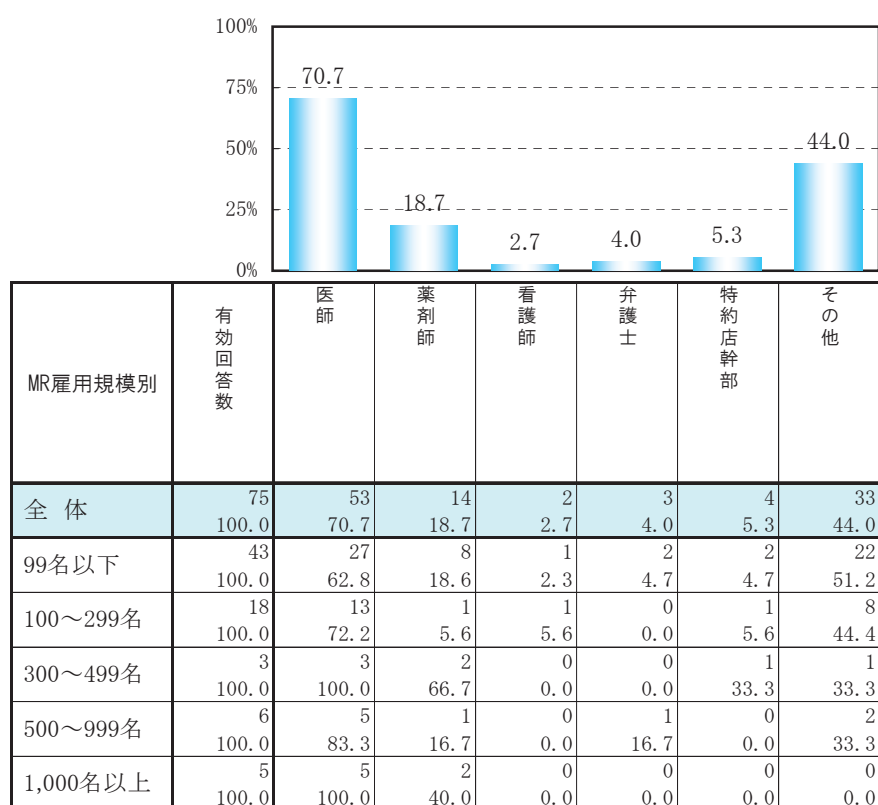
### 3. 継続教育を外部委託している合計の時間

全体では、「10～19時間」5社(21.7%)、「20～29時間」5社(21.7%)、「30～49時間」5社(21.7%)の順となり、平均時間は[26.2時間]となっている。



### 4. 継続教育で社外から招聘する講師について〔複数回答〕

全体では、「医師」53社(70.7%)、「その他」33社(44.0%)、「薬剤師」14社(18.7%)の順となっている。



※有効回答数は、無回答を除く回答企業数を表す

## ●講義タイトルまたは講義内容〔フリーコメント〕

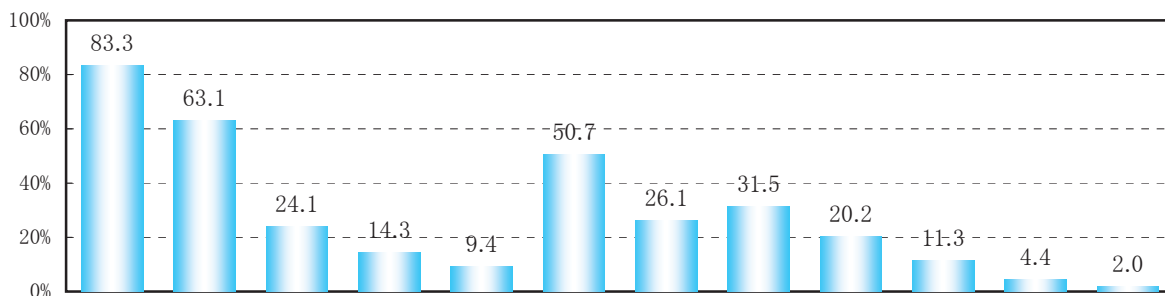
1. 社外講師〔医師〕
「医療統計学の基礎のキソ」「周術期管理」「症例検討」「頭頸部がん治療における栄養管理の実際」
「血友病治療の歴史と薬害エイズ」
「最近経験した興味深い症例」「柴胡桂枝湯」など
オンコロジー研修
ライソゾーム病をはじめとする先天代謝異常症の概要と新生児マススクリーニング。
ロールプレイ研修他
悪性高熱症の最近の話題
医師を招聘し、MR向けの学術講演会を実施している。
医療制度、最近の医療
医療保険制度の概要
外来講師勉強会
各疾患領域における自社製品の必要意義など
効能・効果を有する疾患、およびその治療
最新の子宮内膜症治療
治療ガイドライン、診療実態
自社医薬品(疾病)について
自社医薬品がターゲットにしている疾患の診断と治療の実際
自社関連医薬品の適切な使い方
自社製品に関連した疾患の診断・治療に関する内容
自社製品の開発への道のりとあゆみ、製薬に期待すること
疾患について
疾患の病態と治療について
疾患治療の実際
疾病と治療(最近の話題等)
実地臨床に即した疾患・病態・診断・治療等に関する内容
社内レクチャー
手術室における医療安全、末梢神経ブロック
小児科医 発達障害と夜尿症について
小児慢性便秘症ガイドライン
症例を通じた具体的な診断治療の実際
心筋梗塞の診断と治療
新生児領域における一酸化窒素吸入療法、心臓血管領域における周術期管理など
整形外科研修(年2回) 当社の製品に関連した整形外科研修。
製品関連疾患に対する治療指針について
製品知識に関する研修
専門MR教育にて講演、ロールプレイ等を実施
専門分野(眼科領域)の病態・診断・治療
専門領域における疾患解説、治療に関する最近の話題
造血器腫瘍における有害事象マネジメント
大腸癌の治療について
担当領域における疾患知識の向上
腸内細菌と消化管の生理機能について～機能性消化管障害を中心に～
適応疾患に関する基礎知識
当社品に関連する領域の専門医かを招聘し知っておくべき知識や最新の治療法について講義
乳癌治療の実態、IBD診療の実地医療など
部位別癌治療等
便秘治療について IBDの診断と治療
臨床専門医によるMR勉強会(臨床における患者インサイト、動向に関する講義)

<b>2. 社外講師〔薬剤師〕</b>
「病院薬剤業務と地域連携」
がん治療の副作用について
外来講師勉強会
求められるMR像について
骨粗鬆症の薬剤選択、診療報酬
細胞療法と再生医療等
自社関連医薬品の適切な使い方、簡易懸濁実技
専門MR教育、階層別研修にて講演
調剤薬局の現状
平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定のポイント
薬剤の副作用・薬物相互作用・薬物動態等に関する内容
薬剤師が求めるMR像について
薬剤師の状況
<b>3. 社外講師〔看護師〕</b>
チーム医療における看護師の役割
<b>4. 社外講師〔弁護士〕</b>
ハラスメント
ハラスメント防止
医療業界や安全管理に関する情報
<b>5. 社外講師〔特約店幹部〕</b>
「流通改善ガイドライン」
今回の薬価改定における影響について
地域医療と流通についての講義
販売情報提供活動ガイドライン

6. 社外講師〔その他〕
「コンプライアンス」、「販売情報提供ガイドライン」
「血管アクセスデバイス」「世の中の変化を“自分ごと化”」
「交通事故について」
「地域包括ケア時代に求められる情報提供活動とは」
MSW、病院事務長 階層別研修にて講演
コンサルタント
なし
安全運転講習、公正競争規約関連事例
医療安全への取り組み / 社有車安全運転のポイント
医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン
海外本社の医学専門家によるMPS疾患、Haemophilia疾患の講義。
患者会の方からの当事者の話
患者会や患者さんから直接ご講演を頂く機会を設けている。
機械メーカー:CTトピックス Deep Learningを用いた画像計算 他企業:人権啓発&情報セキュリティー
検査部技師:フローサイトメトリー検査を用いた疾患アプローチ
検査方法の紹介
公競規、販売情報提供ガイドライン解説 など
今後求められるMR活動
今年度は日程の調整がつかず行っていない。
歯科医師:フッ化物およびフッ化物配合歯磨剤の基礎と有用性
疾患啓発活動の現状(検査技師)、製品知識・安全性・品質情報(製造販売元企業の担当者)
疾病と治療
招へいした外部講師はいない。
身体的ハンディキャップについて
地域包括ケア、医療従事者・研究者に伝わるプレゼンテーション
地域包括ケアシステムに関する最近の話題
発達障害診療における臨床心理士の役割
販売情報提供活動に関するGLを視野に入れたMR活動のあり方
本社としてはやっていないが、営業部単位で主に薬剤師を招聘し実施している。例)在宅療養患者の薬剤管理他職種との連携(楽々連携等)など。
免疫学
理学療法士、研究者、患者様、外部トレーナー
臨床工学技士、同業他社など(競合でなく、併用使用される他社製品について)
胚培養士 生殖補助医療施設における培養士の業務

## 1. 継続教育の課題について〔複数回答〕

全体では、「自ら考え、学習するMRを増やしたい」169社(83.3%)、「一方的な講義でなくインタラクティブな研修を増やしたい」128社(63.1%)、「研修成果の検証方法に苦慮している」103社(50.7%)の順となっている。

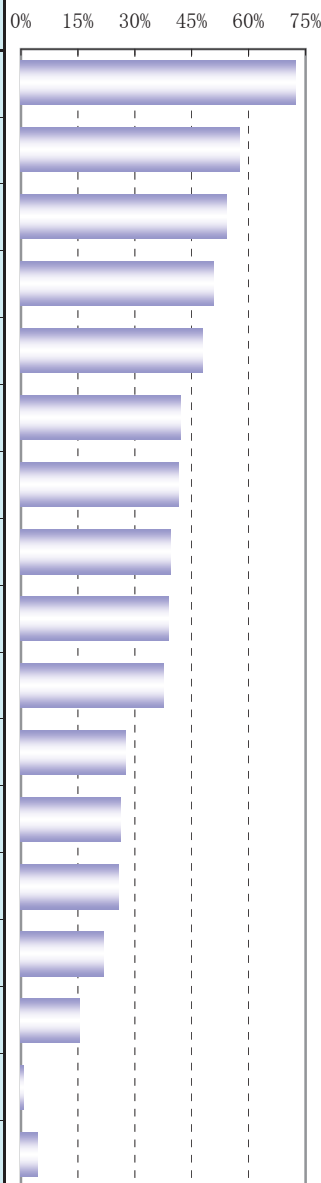


MR雇用規模別	企業数	M自ら考え、学習するMRを増やしたい	一方的な講義でなくインタラクティブな研修を増やしたい	研修密度を増やしたい	研修時間を増やしたい	研修モチベーションを高める施策を増やしたい	研修成果の検証方法に苦慮している	営業活動が優れている間に研修が苦しい	直接的な結果が期待できない	マネージャーに対する研修の意識が低い	研修の理解が足りない	その他	無回答
全体	203	169	128	49	29	19	103	53	64	41	23	9	4
	100.0	83.3	63.1	24.1	14.3	9.4	50.7	26.1	31.5	20.2	11.3	4.4	2.0
99名以下	110	84	63	20	12	9	49	30	30	17	13	5	4
	100.0	76.4	57.3	18.2	10.9	8.2	44.5	27.3	27.3	15.5	11.8	4.5	3.6
100～299名	39	35	26	12	6	7	19	8	15	12	6	2	-
	100.0	89.7	66.7	30.8	15.4	17.9	48.7	20.5	38.5	30.8	15.4	5.1	-
300～499名	11	11	9	3	3	1	8	3	5	4	1	-	-
	100.0	100.0	81.8	27.3	27.3	9.1	72.7	27.3	45.5	36.4	9.1	-	-
500～999名	26	25	16	11	4	1	15	7	8	6	2	1	-
	100.0	96.2	61.5	42.3	15.4	3.8	57.7	26.9	30.8	23.1	7.7	3.8	-
1,000名以上	17	14	14	3	4	1	12	5	6	2	1	1	-
	100.0	82.4	82.4	17.6	23.5	5.9	70.6	29.4	35.3	11.8	5.9	5.9	-

## 2. 継続教育を充実させるために、現在取り組んでいるもの〔複数回答〕

全体では、「一斉テストや研修前後の知識確認テストを行う」147社(72.4%)、「偏らないようMR参加型プログラムも取り入れる」117社(57.6%)、「MRの学習意欲を高めるためプログラムを工夫する」110社(54.2%)の順となっている。

MR雇用規模別	9 9 名 以下	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 名	3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 名	5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 名	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 名 以上	全 体
企業数	110 100.0	39 100.0	11 100.0	26 100.0	17 100.0	203 100.0
一斉テストや研修前後の知識確認テストを行う	61 55.5	34 87.2	10 90.9	25 96.2	17 100.0	147 72.4
偏らないようMR参加型プログラムも取り入れる	50 45.5	26 66.7	9 81.8	21 80.8	11 64.7	117 57.6
MRの学習意欲を高めるためプログラムを工夫する	46 41.8	25 64.1	10 90.9	18 69.2	11 64.7	110 54.2
医療関係者との信頼関係が築けるよう面談スキル研修を強化	49 44.5	18 46.2	8 72.7	17 65.4	11 64.7	103 50.7
医療現場のニーズに対応できるプログラムを立案する	45 40.9	14 35.9	7 63.6	19 73.1	12 70.6	97 47.8
患者さんの立場で情報活動ができるよう研修内容を工夫する	36 32.7	15 38.5	6 54.5	16 61.5	12 70.6	85 41.9
自社製品に関連する「診療ガイドライン」を使いこなす	32 29.1	20 51.3	9 81.8	14 53.8	9 52.9	84 41.4
「自社の目指すMR像」又は「自社MRの行動規範」を策定	26 23.6	17 43.6	8 72.7	16 61.5	13 76.5	80 39.4
研修ごとに到達目標を明確に設定する	23 20.9	16 41.0	8 72.7	17 65.4	15 88.2	79 38.9
自学自習を習慣づけるためにeラーニングシステムを充実	18 16.4	18 46.2	7 63.6	18 69.2	15 88.2	76 37.4
研修に対するトップやマネージャーの理解が得られる工夫	19 17.3	13 33.3	5 45.5	9 34.6	10 58.8	56 27.6
MRの考える力を高めるためにダイアログを取り入れる	11 10.0	11 28.2	5 45.5	15 57.7	11 64.7	53 26.1
若手・ベテランを問わず、トレーナーを社外セミナーに参加	13 11.8	13 33.3	4 36.4	15 57.7	7 41.2	52 25.6
医学の高度化・専門化に対応できるような研修を導入する	15 13.6	11 28.2	4 36.4	8 30.8	6 35.3	44 21.7
向上意欲に応えるために上級MR・社内認定制度を導入する	4 3.6	6 15.4	3 27.3	10 38.5	8 47.1	31 15.3
その他	1 0.9	-	-	-	-	1 0.5
無回答	8 7.3	1 2.6	-	-	-	9 4.4





### 3. 継続教育を充実させるために、今後取り組みたいもの〔複数回答〕

全体では、「MRの学習意欲を高めるためプログラムを工夫する」76社(37.4%)、「医学の高度化・専門化に対応できるような研修を導入する」74社(36.5%)、「MRの考える力を高めるためにダイアログを取り入れる」65社(32.0%)の順となっている。

MR雇用規模別	9 9 名 以下	1 0 0 0 5 2 9 9 9 名	3 0 0 0 5 4 9 9 9 名	5 0 0 0 5 9 9 9 名	1 0 0 0 0 0 名 以上	全 体	
企業数	110	39	11	26	17	203	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0% 10% 20% 30% 40% 50%
MRの学習意欲を高めるためプログラムを工夫する	49	12	1	8	6	76	
	44.5	30.8	9.1	30.8	35.3	37.4	
医学の高度化・専門化に対応できるような研修を導入する	34	19	3	12	6	74	
	30.9	48.7	27.3	46.2	35.3	36.5	
MRの考える力を高めるためにダイアログを取り入れる	32	18	3	10	2	65	
	29.1	46.2	27.3	38.5	11.8	32.0	
医療現場のニーズに対応できるプログラムを立案する	27	21	3	7	5	63	
	24.5	53.8	27.3	26.9	29.4	31.0	
患者さんの立場で情報活動ができるよう研修内容を工夫する	25	14	4	11	5	59	
	22.7	35.9	36.4	42.3	29.4	29.1	
偏らないようMR参加型プログラムも取り入れる	39	8	1	5	5	58	
	35.5	20.5	9.1	19.2	29.4	28.6	
自学自習を習慣づけるためにeラーニングシステムを充実	35	13	4	5	1	58	
	31.8	33.3	36.4	19.2	5.9	28.6	
研修に対するトップやマネージャーの理解が得られる工夫	27	14	4	10	1	56	
	24.5	35.9	36.4	38.5	5.9	27.6	
医療関係者との信頼関係が築けるよう面談スキル研修を強化	21	14	2	8	7	52	
	19.1	35.9	18.2	30.8	41.2	25.6	
向上意欲に応えるために上級MR・社内認定制度を導入する	24	14	4	6	3	51	
	21.8	35.9	36.4	23.1	17.6	25.1	
研修ごとに到達目標を明確に設定する	26	11	2	9	1	49	
	23.6	28.2	18.2	34.6	5.9	24.1	
若手・ベテランを問わず、トレーナーを社外セミナーに参加	26	9	5	3	5	48	
	23.6	23.1	45.5	11.5	29.4	23.6	
自社製品に関連する「診療ガイドライン」を使いこなす	20	11	1	9	4	45	
	18.2	28.2	9.1	34.6	23.5	22.2	
「自社の目指すMR像」又は「自社MRの行動規範」を策定	29	6	-	3	1	39	
	26.4	15.4	-	11.5	5.9	19.2	
一斉テストや研修前後の知識確認テストを行う	17	5	1	2	-	25	
	15.5	12.8	9.1	7.7	-	12.3	
その他	3	-	-	-	-	3	
	2.7	-	-	-	-	1.5	
無回答	9	2	2	3	3	19	
	8.2	5.1	18.2	11.5	17.6	9.4	